



子どもたちの笑顔と
大切な地球のために
For Children's Smiles ☺

つながる力から、豊かな未来を。
一緒にアクションを起こしませんか。

ニュースキンの会員ならどなたでも、社会貢献活動にご参加いただけます。

参加方法の
詳細はこちら



ニュースキンジャパン フォース フォー グッド基金に寄付して参加



1,000円からできる単発寄付



マンスリー サポートによる継続寄付
※ブランド メンバー専用。

製品購入を通じた寄付で参加



One for Smilesプログラム



フォース フォー グッド キャンペーン
(エスネビック製品)

ナリッシュザ チルドレン プログラムに参加



ビタミールの購入・寄付

ニュースキンジャパン社会貢献活動 公式Webサイト



NU SKIN®

ニュースキンジャパン株式会社 www.nuskin.com

東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア14階 TEL:03-6626-1234 (代)
本誌に掲載されているすべてのものに関して、無断転載・複製を禁じます。

©2024 Nu Skin Enterprises, Inc., Nu Skin Japan Co., Ltd. NSE Products, Inc., 86037236 Printed in Japan

2024.6

FORCE
FOR
GOOD

ニュースキンジャパン
社会貢献活動



FORCE
FOR
GOOD

Force for Good (フォース フォー グッド)

それは、豊かな未来をつくるための大切な合言葉。

ニュースキンではForce for Good (人々が豊かになるための力となる) を合言葉に、子どもたちの笑顔や大切な地球を未来へとつなげるための活動を行ってきました。歩み続けてきた歴史をご紹介します。

1993 「Force for Good」の誕生



ニュースキンは1984年、米国ユタ州で創業。以来、「あなたにとって良いものだけを…」という思いから生まれた製品を世界中にお届けしてきました。そして1993年、創業者ブレイク M. ローニーの「一丸となって、世界をより良くする力 (Force for Good) になろう」という言葉から、社会貢献活動のテーマであるForce for Goodが生まれました。

1996

フォース フォー グッドの活動は、感謝の気持ちから始まりました



エスネビック製品の開発にあたり植物の知恵を与えてくれた先住民に感謝を表し、製品1個お買い上げにつき25セントが寄付され、先住民の文化の継承や環境保護等に役立てられるフォース フォー グッド キャンペーンを展開。2021年までの25年間で1,300万ドル以上を寄付しました。

エスネビック製品は、民族植物学の世界的権威ポール A. コックス博士 (写真左上) らとパートナーシップを組み開発されました。

1998

米国で財団が設立され、子どもたちに笑顔を届け続けています

エスネビック製品によるフォース フォー グッド キャンペーンをカタチにするため、社会貢献活動の母体となるニュースキン フォース フォー グッド財団を米国本社が設立。財団では、子どもたちが病気や貧困に苦しむことなく、十分な教育を受けられ、希望をもってより豊かに暮らせる環境づくりを目指しています。



NU SKIN
FORCE FOR GOOD
FOUNDATION

詳しくは
こちら (英語)
▶▶



2002 ビタミールによる食糧支援が始動。 子どもの命を救い、成長を助けています



飢餓に苦しむ世界中の子どもたちのために、チャリティとビジネスが融合したナリッシュ ザ チルドレンが始まりました。これは、ビタミールという製品 (栄養食) を会員や社員が購入・寄付できるプログラムです。日本では2003年に開始しています。

2006 @Japan



日本独自の基金が設立され、国内にも笑顔が広がり続けています

「日本国内でも支援の輪を広げたい」という多くの声により、ニュースキンジャパン フォース フォー グッド基金が設立されました。基金では、支援団体とコラボレートしながら、ひとり親世帯や児童養護施設、東日本大震災被災地の子どもたちの「食」と「教育」につながる支援、マラウイ共和国への農業教育支援、そして大切な地球のための活動を継続しています。



2016 @Japan



製品を使うことが、社会貢献につながる。日本独自の One for Smiles が始まりました

「好きな製品を使って子どもたちを笑顔にしよう」というスローガンのもと、ニュースキンジャパンで始まったOne for Smiles プログラム。全製品の売上利益の1%がニュースキンジャパン フォース フォー グッド基金に寄付されます。

だれかのためのアクションが、

自分の未来を明るくする。

つながっているから、できること。

あなたと変えたい未来が、明確にあります。

ニュースキンジャパンの社会貢献活動一柱となる3つの取り組み

日本の子どもたちの貧困が深刻化することによる食糧問題や教育機会の不均等の問題、そして世界の子どもの飢餓問題や環境破壊の問題など、地球にはたくさんの困難があります。そんな世界の泣き顔を、未来の笑顔に変えていきたいという想いから、フォース フォー グッド活動、ナリッシュ ザ チルドレン プログラム、サステナビリティへの取り組みをととして、さまざまな支援を継続しています。

**FORCE
FOR
GOOD**

フォースフォー グッド

子どもたちの明るい未来に
つながる活動

▶ P4~10



**NOURISH
the CHILDREN**

ナリッシュ ザ チルドレン

世界中の飢餓に苦しむ
子どもへの支援

▶ P11~14



SUSTAINABILITY

サステナビリティ

持続可能な環境への
取り組み

▶ P15~16

フォース フォー グッド

「食べること」と「学ぶこと」で子どもたちを笑顔に。

子どもたちがみな、栄養のある食事をとり、スキルや可能性を育む教育を受け、のびのびと過ごせるように。ニュースキンではForce for Goodの理念のもと、食糧支援・教育支援・被災地支援・マラウイへの農業教育支援を続けています。

**FORCE
FOR
GOOD**





食糧支援 子どもたちが食に困らず、希望をもって歩めるように。

ニュースキンでは「支援を必要としている子どもたちに直接届けたい」と願い、2006年より、フードバンクのセカンドハーベスト・ジャパンとパートナーシップを組み活動しています。ニュースキンは、会員とセカンドハーベスト・ジャパンと共に子どもたちへ食と笑顔を届けています。

累計寄付金額 (2006年～2023年)
約 **4.8** 億円

毎月22,000食*以上を子どもたちへ届ける

セカンドハーベスト・ジャパンとのパートナーシップ

児童養護施設やひとり親世帯で暮らす子どもたちへ食糧を届けるため、毎月150万円の寄付を行っています。

*1食(400g)を提供するためにかかる平均費用は68円(セカンドハーベスト・ジャパンの2023年データに基づく)。

22,000
食 / 月



ひとり親世帯300世帯に

隔月で食品を提供

フードフォー キッズ

日々の食事とお弁当づくりに必要な米や調味料のほか、企業等から寄付された食品を箱詰めして届けています。箱詰めはボランティア参加者によって行われています。

300
世帯 / 隔月



日本の
子どもの貧困

厚生労働省「国民生活基礎調査」(2022年)によると、子どもの貧困率は11.5%で、ひとり親世帯の貧困率は44.5%となっています。



たくさんの
「ありがとう」が
届きました。



年2回、約2カ月間で集まった食品を 必要とする人に届ける

フードドライブ

家庭で眠っている食料品を持ち寄るフードドライブをエクスペリエンスセンターと本社で実施しています。会員・社員より寄付された食品は、フードフォー キッズの利用者などに届けられます。



週2回、子ども食堂で成長を応援

Kids Café(キッズカフェ)

食事の提供はもちろん、宿題の面倒を見る学習支援や多国籍のボランティアとの文化交流の機会を提供するなど、子どもたちの成長を応援する役割をもつ場所です。食の支援が必要な子どもだけでなく、だれでも無料で利用できます。



認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン ▶▶▶ <https://2hj.org/>

「すべての人に、食べ物を。」という理念のもとで活動する日本初・最大のフードバンク。食品関連企業や個人から、まだ食べられるのに、さまざまな理由で流通できない食品を譲り受け、児童養護施設の子どもたちや生活困窮者などの元へ届けるフードバンク活動を行っています。



教育支援 子どもたちはみな、未来のリーダー候補。その可能性を育む学び支援。

一般社団法人The Global Leadership Impact Fund Japanが取り組む、学校変革プログラム「リーダー・イン・ミー」の導入支援を2016年より継続しています。東日本大震災の被災地の子どもたちが未来を「生きる力」を育み、大きく成長することを願い、現在は東北の公立小学校への導入を支援しています。

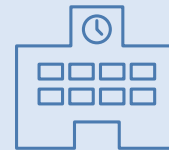
一人ひとりが自分で考え、行動。多くの成長を実感

リーダー・イン・ミー

リーダー・イン・ミーを導入した世界中の小学校では、子どもたちに、自信、チームワーク力、率先力、想像力、表現力、リーダーシップ、問題解決力、コミュニケーション力がつき、結果的に学力が向上したとの報告があります。生活指導上の問題も減り、教員のモチベーションや保護者の満足度も向上したそうです。



ニュースキンでは公立小学校への研修やワークショップの実施、テキストの制作、配布などの支援を行っています。テキストでは、ニュースキンが紹介されています。



公立小学校 累計34校

13,379人に

学びの輪が広がっています

(2016年～2023年)

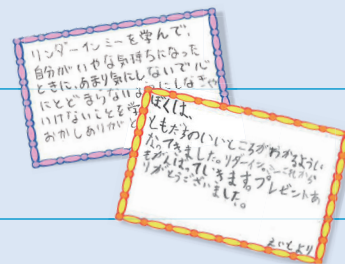


子どもたちからも嬉しい声が届いています。

リーダー・イン・ミーの考えを使って問題を解決していきたい

毎日友だちのいいところをみつめています

時間をきめて自主学習をしています



Leader in Me®

FIND YOUR VOICE

リーダー・イン・ミーのプログラムとは？

リーダー・イン・ミーは、21世紀に生きる子どもたちに必要なスキルを育むための教育プログラムです。「すべての子どもはリーダーになれる」という方針のもと、「7つの習慣®」に基づき、教育者たちと協力して開発されました。プログラムは、1つの学校に3年間をかけて導入します。



ステイブン・R・コヴィーのベストセラー ビジネス書「完訳7つの習慣® 人格主義の回復」。

突然ですが、想像してみてください……

もし、学校に通う子どもたちが、**責任感をもって主体的に行動し、自分で目標を立てて、それを達成し、自分たちの問題や課題を自分たちで解決できる**としたら、どうでしょうか？

これは、リーダー・イン・ミーを導入している学校で現実になっていることです。

～子どもたちが育む、リーダーシップの考え方の基準「7つの習慣®」

1. 自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。
2. ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。
3. 大事なことから今すぐに。自分の約束を守る。
4. Win-Winを考える。みんながハッピー。
5. わかってあげてから、わかってもらう。お互いにわかり合う。
6. 力を合わせる。みんなで考えた方がうまくいく。
7. 自分を磨く。成長し続ける。

～3年間かけ、「7つの習慣®」を学校の文化に育て上げます

1年目

まず全教員が研修を受け、リーダーシップの考え方の基準となる「7つの習慣®」を学びます。続いて、学校全体のビジョンや目標を決めます。

2年目

児童の日常生活に「7つの習慣®」の考え方や行動を浸透させるために、授業をはじめ学校生活の中で実践できる機会をつくります。

3年目

児童が他者と協働し、大きな成果を生み出せるように、リーダーシップを発揮させるための行事などを企画して実施します。

※「7つの習慣®」および「リーダー・イン・ミー」は、米国フランクリン・コヴィー社またはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。



被災地支援

子どもたちの心を豊かに。被災地の声に耳を傾け、必要な支援を継続。

2011年に発生した東日本大震災 被災地の子どもたちへの継続支援や、各地の自然災害等に迅速に対応する緊急支援を行っています。ニュースキンは、被災された方が一日でも早く笑顔を取り戻せるよう、現地で今必要とされるさまざまな支援を続けています。



東日本大震災支援 累計寄付金額
(2011年～2023年)

約3.4億円

【東日本大震災 被災地への継続支援】

学ぶのが楽しくなる
文房具セットを届ける
キッツ フォー キッズ 6月



累計40,040セット
(2011年～2023年)

子どもたちに
クリスマス ギフトを届ける
クリスマス ギフト プラン 12月



累計13,730セット
(2011年～2023年)

リーダー・イン・ミーを導入している被災地の公立小学校のほか、セカンドハーベスト・ジャパンを通じて児童養護施設の子どもたちに贈られます。

小学校を訪問し、直接子どもたちへ(写真左)。
会員と社員が共にラッピング(写真右)。



心を育む本を寄贈

スマイル ライブラリー プラン



累計10市町村
142校 23,585人へ
31,771冊
(2013年～2020年)

震災当時に外で遊ぶことができなかった子どもたちのために、本を届けました。
図書不足の各小学校へ赴いて希望を募り、地元の業者に発注しました。



【各地の自然災害等への緊急支援】

令和6年能登半島地震 被災地への緊急支援

被災者の生活支援のために、義援金を寄付し、現地で必要とされるニュースキン製品を届けました。



日本赤十字社*1へ寄付
約897万円
(2024年1月、4月)



ニュースキン製品を提供*2
合計2,500個
(2024年3月)



日本政府など*3へマスクを寄付
合計43,500枚
(2020年4～7月)



赤い羽根共同募金や
国境なき医師団へ寄付
合計400万円
(2020年4月)

新型コロナウイルス感染症 対策のための緊急支援

深刻化していたマスク不足に対するマスクの提供や、各種支援活動への寄付を行いました。



マラウイ共和国への

農業教育支援

家族の自立をサポートし、マラウイの子どもたちが食べて・学べる未来を届ける。

世界の最貧国のひとつ、マラウイ共和国の子どもたちが栄養ある食事をとり、学校に通える環境をつくるためには、彼らの家庭の経済的な自立が欠かせません。そこで、マラウイ政府・大学と協力し、SAFIの農業教育を多くの村に効率的に広めるために活動しています。

累計10,188世帯の家族が参加 (2023年現在)

農業支援を通じた経済的自立支援

マラウイ現地の環境に合わせたプログラムにより、多くの家族の自立を促します。そのノウハウは、将来的に子どもたちへと受け継がれ、長い間この地域の人々を支えていくことになります。

病気の夫と5人の子どもがいる
女性農家は「空腹や栄養不良の
心配がなくなった」と話しています。



農業教育支援プログラムの特徴

- 政府に雇用された農業指導員を教育し、マラウイ全土へ効果的に広めます。
- SAFIのノウハウを活用し、生産量を増加させます。
サッカー場約1面分の土地でのとうもろこし栽培において、通常7袋の収穫に対し、SAFIのノウハウにより40袋の収穫が可能になりました。
- 選出された模範的な家族は、輪作の仕方、作物学、家畜学を習得します。

効率よく収穫ができると農家にはインセンティブが与えられます。インセンティブと農業での成功体験が参加家族の意欲を高め、同じ村の農民たちにより影響を与えます。



SAFIとは？

家族の自立を支援する農業学校「School of Agriculture for Family Independence」(SAFI)。2007年にニュースキンフォースフォーグッド財団が地元の非営利団体や市民団体と提携して建設。約30の家族が生産性を高めるための農場の知識や技術を学びます。



マラウイの
貧困

労働人口の80%が農業関連事業に従事している伝統的な農業国。しかし農業の基本的な知識はなく収穫量が限られていることから、貧しい国に数えられています。

ナリッシュ ザ チルドレン

その1食が、子どもたちの未来をつくる。

世界中の子どもたちがぐすくぐと成長していけるように。ニュースキンでは、会員と社員によって購入された栄養食「ビタミール」を、飢えと栄養不良に苦しむ世界中の子どもたちに無償で届けるプログラムを実施しています。



※ニュースキンは、栄養補助食品とスキンケア製品を販売している企業であり、ニュースキン エンタープライズ社は、ニューヨーク証券取引所に上場しています (NYSE:NUS)。ニュースキンのプログラムであるナリッシュ ザ チルドレンは、米国の複数の州で商業的な共同ベンチャーとして登録されています。このプログラムを通じて、ニュースキンのブランド メンバーやショッピング メンバーはニュースキンからビタミールを購入し、それを民間援助機関 (NPO: 非営利活動法人) に寄付することによって、「子どもたちを栄養不良から救う」という難しい世界的な課題に取り組むことができます。ビタミールの価格には、生産、一般管理、配送、販売にかかる費用が含まれています。ほかのニュースキン製品と同様に、ブランド メンバーには報酬が支払われ、ニュースキンはビタミールの販売から利益を得ています。



ビタミール

ビタミールの食糧支援は、栄養、教育、雇用も届けています。

■ 飢えを満たすだけでなく栄養を届ける

重要な栄養素を摂取できない状況に置かれた子どもたちは栄養不良となり、脳や骨、免疫系の発達が妨げられてしまいます。そんな子どもたちを救うため、ファーマネックスの研究チームがビタミールを開発しました。栄養不良の子どもたちの成長を助けるために必要な栄養素がバランスよく配合されています。

■ 子どもたちの教育を支える

多くの家庭では、子どもたち(特に女の子)に家の手伝いをさせており、日々の食事でもまならないほどです。しかし、ビタミールを学校給食として無料で提供したところ、親は子どもたちを学校へ行かせるようになり、結果として教育支援にもつながっています。

■ 400人の雇用を生み出すビタミールの製造

ビタミールはマラウイの工場で製造されます。原料には現地の農作物を使用するため、ビタミールの製造は全体で400人の雇用を生み出しています。工場を建設したことで、輸送費の削減につながるだけでなく、現地経済の活性化に貢献しています。



ビタミールとは

ビタミール1袋は5歳未満の小児の30食に相当し、1食で240キロカロリーを摂取できます。1袋を受け取った子どもは、栄養ある食事を1か月間、毎日1回とることができます。



400人の
雇用を生み出す

ナリッシュ ザ チルドレン プログラムの流れ

会員・社員が購入し、寄付されたビタミールは、ニュースキンがまとめ、民間援助機関を通じて子どもたちに届けられます。ビタミールの配布にかかる費用はニュースキンが全額負担しています。



ナリッシュ ザ チルドレンがサポートする工場で、ビタミールが製造されます。



寄付者が購入したビタミールを、信頼できる民間援助機関に寄付します。



民間援助機関が、支援をもっと必要とする人々にビタミールを届けます。



ナリッシュ ザ チルドレンには子どもたちの成長や健康状態が定期的に報告されます。





ビタミール

日本で購入・寄付されたビタミールは
マラウイの子どもの明日の笑顔になる。



マラウイ共和国

□ アフリカ南部 □ 人口2,040万人 □ 国民総所得 (GNI) 138位 / 197カ国中
※2022年世界銀行調べ。

5歳以下の子どもたちの2人に1人が栄養不全といわれている、アフリカのマラウイ共和国。自然災害に見舞われることも多く、さらにHIV感染者が多い国としても挙げられ、子どもたちは生まれたときから多くの困難を背負っています。

【数字で見るマラウイ】



出典：・UNICEF Malawi 2021 Annual Report ・THE WORLD BANK, Fact Sheet: An Adjustment to Global Poverty Lines (2023年9月28日取得) ・THE WORLD BANK, World Development Indicators: Poverty rates at international poverty lines (2023年9月28日取得)

ビタミールを食べて笑顔になった子どもたち



アイリオン

少女は5歳のときにHIV陽性と診断されたのですが、家庭の状況により適切な栄養をとることができませんでした。そんな状況を知ったジョイス バンダ財団の支援を受けてビタミールを食べることができるようになり、栄養状態は大幅に改善されました。活力を取り戻した少女は、将来看護師になりたいといっています。 出典：ジョイス バンダ財団 ストーリーシート



ロニティア

少女が両親を亡くしたのは3歳のときでした。以降、祖母に精一杯世話してもらいましたが、苦勞が絶えない環境下におかれました。そんなある日、ムテンデレ孤児院が栄養不良の少女を受け入れ、ビタミールを11年間とり続けることができました。健康になり、数学、英語、農業が大好きになった少女の夢は、銀行の支店長になることです。



NTC レコグニション プログラム

このプログラムは、ナリッシュ ザ チルドレン オートマティック デリバリー プログラム (NTC ADP) *と単発でビタミールを購入・寄付し、Force for Goodの精神を推進している会員の方々を称えるプログラムです。

※ブランド メンバー専用。 *ビタミールを定期購入し、寄付すること。

詳細はこちらから
(要ログイン)



フレンド

1か月に30食を届けることができます
あなた自身が1か月にビタミール1袋を購入・寄付



1袋
▶ 約30食



ロング ターム フレンド

1年間の継続で360食を届けることができます
あなた自身が1か月にビタミール1袋を購入・寄付し、12ヵ月継続



月1袋以上
×12ヵ月
1年間継続で
▶ 約360食



NTC アンバサダー

1年間の継続で約6,000食を届けることができます
あなた自身、もしくは、あなたのグループ (第1世代のダウンライン) で毎月ビタミールを合計16袋以上購入・寄付し、2ヵ月継続 (あなた自身の購入・寄付: 4袋以上必要)



月16袋以上
×2ヵ月
1年間継続で
▶ 約6,000食



NTC チーフ アンバサダー

1年間の継続で約24,000食を届けることができます
あなた自身がNTC アンバサダーを達成し、かつあなたのグループ (第1世代のダウンライン) で同じ月に3人が「NTC アンバサダー」を達成



月16袋以上
×2ヵ月×4人
1年間継続で
▶ 約24,000食



ナリッシュ ザ チルドレンは、
私たちのビジネスの5%かもしれませんが、
私たちのあり方の95%を象徴しています。

ニュースキン エンタープライズ創業者 ブレイク M. ローニー

私たちは、世界のForce for Goodになることをミッションとしています。ナリッシュ ザ チルドレンは、栄養不良や飢餓に瀕した子どもたちに命を吹き込む機会を与えてくれます。Force for Goodとなるうえで、これに勝るものではありません。

サステナビリティ

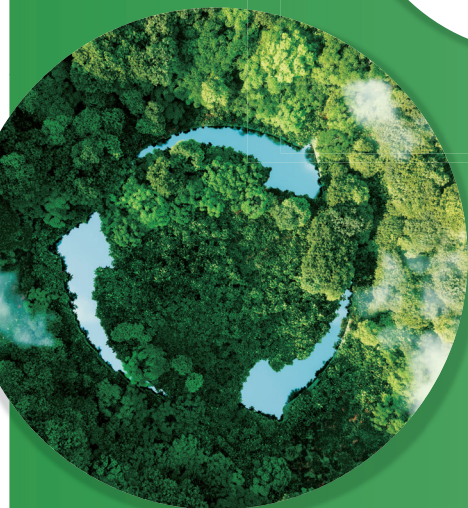
今日の一步は、10年後につながっていく。

もっとワクワクした未来の地球に出会うために。ニュースキンでは、**Planet** (地球)、**Product** (製品)、**People** (人々)の観点から、サステナビリティ(持続可能性)向上を目指しています。製品パッケージの簡素化や環境に配慮した成分の採用、環境保全やリサイクル活動などに取り組んでいます。

Planet
地球

Product
製品

People
人々



グローバル

エコパッケージ

サステナブルな未来へ向けて、
環境に配慮した製品パッケージづくり。



ニュースキンでは、「2030年までに全製品のパッケージを簡素化し、サステナブルなものに変える」などの施策を進めるために、製品パッケージが環境に与える影響を評価する独自のスコアリングシステムを構築しています。2020年には20製品、2022年には新たに30製品以上の評価、改善を行いました。

地球にやさしいパッケージを採用することで
削減できたプラスチックと紙の量(2022年)。



82.75トンの
プラスチックを削減



23.36トンの
紙を削減



日本

環境保全

みどり豊かな地球を
目指すための活動を継続。

霧多布湿原の保全活動を継続

霧多布湿原ナショナルトラストへの支援

「美しい自然を未来の子どもたちに引き継ぎたい」というミッションを掲げて活動する認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト。ニュースキンは、湿原の素晴らしい自然を保護する必要性を感じ、2000年に支援を開始しました。2023年に始動した「霧多布湿原ニュースキンの森」植樹プロジェクトは、湿原の生態系を健全に維持するための「水源の森」をつくる活動です。

累計寄付金額(2000年~2023年)

5,680万円



ニュースキンの森が豊かに育つことを願いながら、会員・社員で44本を植樹しました。

空き容器リサイクル活動を継続



Force for Greenリサイクル プログラム

ニュースキン製品の使用済み空き容器を回収する活動を2021年より実施しています。空き容器は、リサイクル業界の草分け的存在であるテラサイクルジャパンの回収プログラムを活用して、新たなものづくりのために再生利用されます。2023年には、生まれ変わった文房具を東日本大震災 被災地の子どもたちに届けました。

累計回収容器(2021年~2023年)

約32,454.64 kg
(808,806個)



回収容器の一部を使ってつくられたペンケース(写真左)と鉛筆キャップ(5個組)の各4,000個は、子どもたちの学びをサポートしています。



つながる力で広がった笑顔の数

ニュースキンはForce for Good(人々がより豊かになるための力となる)というミッションの実現を目指し、フォース フォー グッド活動、ナリッシュ ザ チルドレン プログラム、サステナビリティへの取り組みを行ってきました。

FORCE
FOR
GOOD

FFG基金 **13** 億円

ニュースキンジャパン フォース フォー グッド基金 (FFG基金)の累計金額は13億円を超え、子どもたちや地球のためのさまざまな活動に役立てられています(2006年～2023年)。



ビタミンル
累計寄付数 **8.5** 億食

ナリッシュ ザ チルドレン プログラムをとおりて
会員、社員が購入し、子どもたちに無償で提供
されたビタミンル(寄付専用の食糧)は現在8億
5,000万食を超えています(2024年7月時点)。



被災地支援

本・文房具セット・クリスマス ギフト

累計 **85,541** 点

キッツ フォー キッズ、クリスマス ギフト プラン、スマイル
ライブラリー プランを通じて、東日本大震災 被災地
の子どもたちに図書や文具、お菓子を届けています
(2011年～2023年)。



空き容器リサイクル

累計回収量

約 **32,454.64** kg

ニュースキン製品の使用済み空き容器を回収
するForce for Greenリサイクル プログラムを実
施。回収容器は新たなもののづくりに再生利用さ
れます(2021年～2023年)。

世界で評価されたニュースキンの社会貢献活動

人々がより豊かになるための力になりたい。そんなニュースキンのForce for Goodの活動は、
世界中のさまざまな外部機関より高く評価されています。※以下はニュースキンエンタープライズでの受賞歴の一部です。

2023



ベストインビズアワード
インターナショナル部門
CSR プログラム オブサイヤー
銀賞



インターナショナル
CSR エクセレンス アワード
コーポレート シチズンシップ

2022



ビジネス インテリジェンス
グループ (BIG)
サステナビリティ
リーダーシップ アワード
(企業)



ベストインビズアワード
インターナショナル部門
グローバル企業の
社会的責任への取り組み
金賞



コミュニタスアワード
コミュニティ サービス・企業の
社会的責任 (CSR) における
リーダーシップ部門
倫理・環境の責任における
リーダーシップ部門

世界中のニュースキンが届けた笑顔

ニュースキンは約50のマーケットでビジネスを展開し、世界各地でも、子どもたちの健やかな
未来のための活動を行っています。ここでは2022年の活動の一部をご紹介します。



グレートチャイナおよび東南アジア チルドレンズ ハート基金で
先天性心疾患の子どもを支援。1999年以降に29,000件以上の
手術が行われ、そのうち1,300件以上が2022年に行われました。



ニュースキン アメリカ地区は、
モバイル サージェリー インターナショナルによる
メキシコ全土での口唇口蓋裂の治療を支援。
2022年中に800回以上の手術を行いました。

FORCE
FOR
GOOD

ニュースキンジャパン

フォース フォー グッド基金の使い道をご紹介します

参加方法は2つあり、役立てられる支援の内容も異なります。一緒に笑顔届けませんか。



製品購入を通じた寄付

One for Smiles プログラム

使い道 サステナビリティへの取り組み^{*1}

基金への直接寄付

1,000円からできる単発寄付(使い道は、次の3つから選べます)

使い道 日本国内の子どもへの「教育」支援など

使い道 サステナビリティへの取り組み^{*2}、緊急災害支援など

使い道 マラウイ共和国への農業教育支援 (SAFI)

マンズリー サポートによる継続寄付^{*3}※ブランドメンバー専用。

使い道 日本国内の子どもへの「食糧」支援など^{*4}

※1 霧多布温原保全活動、空き容器リサイクル活動。 ※2 ※1以外。 ※3 次の2つの寄付申し込み方法があります。毎月のボーナスの1%～を寄付／
毎月のボーナスから定額を寄付。 ※4 ボーナスからの単発寄付も対象。